

平成 23 年度 事業報告書

I 設置校の概要（平成 23 年 5 月 1 日現在）

1 学生、生徒及び園児数

2 専任教職員数

II 役員会の開催状況

III 主な事業の目的・計画及び実績

IV 決算及び財務状況

学校法人富山国際学園

I 設置校の概要

1. 学生・生徒・園児数(平成23年5月1日在籍)

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	245 (160)	83 (77)	75 (63)	68		226 (140)	0.92 (0.88)	
	現代社会学部	490 (365)	103 (138)	138 (118)	112 (125)	121	474 (381)	0.97 (1.04)	
	国際教養学部	募集停止 (130)			(1)	(41)	2 (42)	(0.32)	
	地域学部	募集停止 (120)			(2)	(75)	2 (77)	(0.64)	
	小計	735 (775)	186 (215)	213 (181)	180 (128)	125 (116)	704 (640)	0.96 (0.83)	
短大	食物栄養学科	160 (160)	88 (93)	91 (89)			179 (182)	1.12 (1.14)	
	幼児教育学科	160 (160)	94 (93)	93 (79)			187 (172)	1.17 (1.08)	
	経営情報学科	200 (200)	125 (120)	117 (120)			242 (240)	1.21 (1.20)	
	福祉学科	140 (140)	43 (63)	57 (58)			100 (121)	0.71 (0.86)	
	専攻科食物栄養専攻	30 (30)	14 (8)	8 (17)			22 (25)	0.73 (0.83)	
	小計	690 (690)	364 (377)	366 (363)			730 (740)	1.06 (1.07)	
高校	全日制課程普通科	710 (695)	247 (241)	226 (252)	238 (164)		711 (657)	1.00 (0.95)	入学定員 ^㉑ 220 ^㉒ 250 ^㉓ 240
幼稚園		84 (84)	(3歳児) 39 (24)	(4歳児) 27 (26)	(5歳児) 26 (27)		92 (77)	1.10 (0.92)	
総計		2,219 (2,244)					2,237 (2,114)	1.01 (0.94)	

※1. 在籍合計欄の は定員割れを示す

※2. ()内は22年度の収容定員及び在籍人員(5月1日現在)

〔参考〕：平成24年度在籍数

部門	学部・学科名等	収容定員 (A) 人	1年 人	2年 人	3年 人	4年 人	在籍合計 (B) 人	定員充足率 B/A	備考
大学	子ども育成学部	330	82	77	76	66	301	0.91	
	現代社会学部	490	106	99	132	112	449	0.92	
	小計	820	188	176	208	178	750	0.91	
短大	食物栄養学科	160	90	87			177	1.11	
	幼児教育学科	160	93	94			187	1.17	
	経営情報学科	200	113	120			233	1.17	
	福祉学科	140	60	41			101	0.72	
	専攻科食物栄養専攻	30	18	14			32	1.07	
	小計	690	374	356			730	1.06	
高校	全日制課程普通科	735	370	238	218		826	1.12	入学定員 ^㉒ 250 ^㉓ 240 ^㉔ 245
幼稚園		84	(3歳児) 36	(4歳児) 40	(5歳児) 30		106	1.26	
総計		2,329					2,412	1.04	

2. 専任教職員数(平成23年5月1日在籍)

	本部 人	大学 人	短大 人	高校 人	幼稚園 人	合計 人	備考
教員数	— (—)	△ 4 49 (53)	△ 3 41 (44)	1 40 (39)	6 (6)	△ 6 136 (142)	特任教員を含む
職員数	3 (3)	1 25 (24)	△ 1 25 (26)	4 (4)	— (—)	0 57 (57)	実習助手を含む
合計	3 (3)	△ 3 74 (77)	△ 4 66 (70)	1 44 (43)	6 (6)	△ 6 193 (199)	

※1. ()内は平成22年5月1日在籍の人数である

II 役員会の開催状況

- 平成23年5月26日 理事会・評議員会
- 平成23年11月11日 理事会
- 平成24年3月23日 理事会・評議員会

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
理 事 会	20~26	20	平成23年5月26日	第208回理事会 議案第1号 理事長選任の件 → 議決 議案第2号 常務理事選任の件 → 議決 議案第3号 監事選出の件 → 議決 議案第4号 法人職員のうちから評議員推薦の件 → 議決 議案第5号 学識経験者のうちから評議員推薦の件 → 議決 議案第6号 平成22年度事業報告及び決算報告の件 → 議決 議案第7号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第8号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第9号 富山国際大学附属高等学校学則の一部改正の件 → 議決
		20	平成23年11月11日	第209回理事会 議案第1号 富山短期大学学長選考の件 → 議決 議案第2号 理事長選任の件 → 議決 議案第3号 法人の設置する学校卒業生のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第4号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決
		20	平成24年3月23日	第210回理事会 議案第1号 平成23年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 議決 議案第2号 平成24年度事業計画案並びに資金収支予算案及び消費収支予算案に関する件 → 議決 議案第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 議決 議案第5号 富山短期大学学長選考の件 → 議決 議案第6号 学識経験者のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第7号 法人職員のうちから評議員推薦の件 → 議決

区分	開催日現在の状況		開催年月日	議 事 内 容
	定 員	現 員(a)		
評 議 員 会	41~53	40	平成23年5月26日	第189回評議員会 諮問第1号 平成22年度事業報告及び決算報告の件 → 了承 諮問第2号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 了承 諮問第3号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 了承 諮問第4号 富山国際大学附属高等学校学則の一部改正の件 → 了承 議案第1号 監事選出に同意の件 → 議決 議案第2号 法人職員のうちから評議員選任の件 → 議決
		42	平成24年3月23日	第190回評議員会 諮問第1号 平成23年度資金収支補正予算案及び消費収支補正予算案に関する件 → 了承 諮問第2号 平成24年度事業計画案並びに資金収支予算案及び消費収支予算案に関する件 → 了承 諮問第3号 富山国際大学学則の一部改正の件 → 了承 諮問第4号 富山短期大学学則の一部改正の件 → 了承 議案第1号 法人職員のうちから評議員選任の件 → 議決 議案第2号 評議員のうちから理事選任の件 → 議決

Ⅲ 主な事業の目的・計画および実績

富山国際大学

(1) 平成 23 年度学生募集活動及び平成 24 年度入学者数

引き続き定員確保が経営改善の最重点課題であることから、県内募集に特に重点をおき、ホームページ充実による情報発信の再整備を柱とした募集活動を行った。また、新たな試みとしてテレビのお天気フィラー広告をとり入れた。

しかし、現代社会学部、子ども育成学部ともに定員割れとなり、平成 24 年度の定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕は 0.96 から 0.91 となった。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

平成 21 年度に日本私立学校振興・共済事業団から認定を受けた、①学生定員の確保、②人件費の削減、③外部資金の導入を柱にした本学園の「経営改善計画」が進行中であり、この計画を達成するため、平成 23 年度においては次のことを重点として取り組んだ。

① 入学定員の確保へ向けた広報活動等の強化。

広報・アドミッション企画チームを立ち上げ、有効な広報の実施や学生確保に繋がる機動的な活動の実施に努めた。

② 両学部の完成年度へ向けた対策の強化と完成年度後の教育体制の見直し。

③ 就業力の強化。

現代社会学部では平成 23 年度に最初の卒業生を出したが、文科省の補助事業を活用しながらきめ細やかな指導を行なった結果、就職率は 96.8%となった。

子ども育成学部では平成 24 年度の完成年度へ向け各種実習や資格獲得対策等を本格化した。第 1 期生の小学校・幼稚園教諭、保育士、社会福祉士等の免許獲得と就職実績が学部評価につながることから、平成 24 年度も引き続ききめ細やかな指導を実施する。

④ FD・SD(Faculty Development・Staff Development)活動の強化。

教育力・学生対応力の向上、教職員の意識改革を図るため積極的に研修会などを開催した。また、卒業までに学生に社会で必要とされる能力を養成する「教育の質保証」いわゆる「出口保証」を明確にした教育力強化を図った。

⑤ 戦略・企画の立案や I R (Institutional Research) 活動の強化。

学長室・企画本部を新たに設置し、教職員協働の課題別企画（プロジェクト）チームを編成し、基本的計画の目標や事業計画等の立案・企画・実施を積極的に行う体制を作った。また、I R 企画チームを編成し、教育研究活動及び経営に関するデータ収集・分析、自己点検評価と評価に基づく改善計画・対策の立案、中長期戦略の策定等を行う体制を整備した。

⑥ 地域連携・交流の強化。

エクステンション・カレッジ発足に向け準備室を立ち上げ、平成 24 年度の本格稼働に向けた準備を進めた。

⑦ 競争的資金の獲得。

外部資金獲得に積極的に応募し、間接経費では約 100 万円の収入増につながった。また、外部資金獲得（【文部科学省】大学教育・学生支援推進事業「学生支援推進プログラム」（H21 年～H23）・【文部科学省】大学生の就業力育成支援事業（H22～H23））は対外的な本学の知的財産のアピールにもつながった。

⑧ 人件費削減・抑制。

教員の業務に見合った給与や役職の見直し等を行なった。事務組織においても従来の縦割り体制から情報を共有できるチーム制をしき、限られた人員で効率的・スピーディーな職務遂行を目指す体制づくりを行なった。

富山国際大学が目指す「学生が主役の大学」の実現に向け、今後も大学あげて組織的教育力の向上と強化に取り組む。

富山短期大学

(1) 平成 23 年度学生募集活動及び平成 24 年度入学者数

新たに大学入試センター試験利用型入試を導入し、前後期併せ 44 名の出願者数があった。

平成 24 年度入学者数は食物栄養学科、幼児教育学科、経営情報学科においては例年どおり定員を確保することができた。しかし、福祉学科においては富山県の補助により高校訪問や出張授業など福祉人材の発掘に力を入れたことにより回復傾向は見えたものの、なお定員確保はできなかった。専攻科食物栄養専攻は平成 17 年に開設して以来初めて定員を確保した。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

平成 23 年度は、体育館・学生アメニティ棟及び食物栄養学科棟改築に向けて校舎改築工事基本設計業務基本設計料 4, 5 1 5 千円、校舎改築工事設計監理業務として 4 8, 5 1 0 千円を支出した。

また、経営情報学科棟においては冷房用チラー入替工事(6, 5 1 0 千円)を実施した。

教育研究では、平成 22 年度に導入したガスクロマトグラフ研究装置を活用してホタルイカによる脂肪肝の改善効果を実証する研究成果をあげた。この他全国的な学会において複数の論文を発表するなどの実績をあげ、企業等からの助成金を得た。

また、全国保育士養成セミナー・研究大会を本学主催で開催するなど本学を全国にアピールできた年となった。

就職については、平成 24 年 4 月 30 日現在 98.8%と高い実績を維持することができた。

富山国際大学附属高等学校

(1) 平成 23 年度生徒募集活動及び平成 24 年度入学者数

前年度に引き続きテレビコマーシャルを取り入れ、新校舎のアピールに努めた。スクールバスの運行も各中学校や保護者に周知されたこと等により、入学定員 245 名に対し入学者 369 名、定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕1.12 となった。

(2) 重点目標・活動計画を中心とした取組み

予定された耐震化工事を全て終えた。平成 23 年度分の事業費は次のとおりである。

校舎改築Ⅱ期工事	349,000 千円
校舎改築Ⅱ期追加変更工事	3,612 千円
校舎改築Ⅱ期工事監理業務費用	8,820 千円
外構追加工事	15,897 千円
新校舎用備品一式	9,922 千円
計	387,251 千円

この他に県の補助事業を活用し、自転車小屋に 6,090 千円、第 2 情報演習室等設備に 5,733 千円をかけて整備した。

野球部が第 83 回春季富山県高等学校野球大会に初優勝し、第 93 回全国高等学校野球選手権大会は県予選決勝では惜しくも敗れたため甲子園出場は逃したが、県内の野球界を大いに沸かせた。また、テニス部、バドミントン部、新聞部等も例年通りの力を発揮することができた。次年度は富山県において高総文祭、北陸地区で高校総体があり、体育・文化両面における活躍が期待される。

富山短期大学附属みどり野幼稚園

(1) 平成 23 年度園児募集活動及び平成 24 年度入園者数

送迎バスの充実や預かり保育が周知されたこともあり定員充足率〔在籍学生数/収容定員〕は 1.26（前年度 1.10）となった。

(2) 重点目標・活動計画及び取組み

「親子クラブ」などの未就園児を対象とした子育て支援活動の充実、預り保育の実施、通園バスの運行の拡大等により園児の定員を確保した。しかし、園児数増加により、預り保育や未就園児等の活動スペースなど施設の不足等及び園舎の老朽化による耐震化改築も考える必要がある。

IV 決算及び財務状況

資金収支計算書

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

(単位 千円)

収入の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
学生生徒等納付金収入	1,735,481	1,763,784	△ 28,303	
手数料収入	33,032	34,306	△ 1,274	
寄付金収入	2,005	6,597	△ 4,592	
補助金収入	573,358	551,976	21,382	
国庫補助金収入	299,374	285,299	14,075	
地方公共団体補助金収入	256,742	248,762	7,980	
その他補助金収入	17,242	17,915	△ 673	
資産運用収入	34,020	32,120	1,900	
資産売却収入	1	0	1	
事業収入	78,362	78,357	5	
雑収入	174,606	157,378	17,228	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	469,615	454,359	15,256	
その他の収入	525,734	679,218	△ 153,484	
資金収入調整勘定	△ 463,882	△ 598,901	135,019	
前年度繰越支払資金	1,129,023	1,129,020		
収入の部合計	4,291,355	4,288,214	3,141	
支出の部				
科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	
人件費支出	1,779,161	1,742,281	36,880	
教育研究経費支出	549,779	498,488	51,291	
管理経費支出	149,546	130,049	19,497	
借入金等利息支出	3,114	3,113	1	
借入金等返済支出	57,220	57,360	△ 140	
施設関係支出	453,248	444,371	8,877	
設備関係支出	50,602	40,419	10,183	
資産運用支出	64,791	226,781	△ 161,990	
その他の支出	475,394	474,581	813	
[予備費]	(0)			
	15,500		15,500	
資金支出調整勘定	△ 236,000	△ 386,530	150,530	
次年度繰越支払資金	929,000	1,057,301	△ 128,301	
支出の部合計	4,291,355	4,288,214	3,141	

消費収支計算書

平成23年 4月 1日から
平成24年 3月31日まで

(単位 千円)

消費収入の部				
科	目	予 算 額	決 算 額	差 異
学生生徒等納付金		1,735,481	1,763,784	△ 28,303
手数料		33,032	34,306	△ 1,274
寄付金		2,708	15,450	△ 12,742
補助金		573,358	551,976	21,382
国庫補助金		299,374	285,299	14,075
地方公共団体補助金		256,742	248,762	7,980
その他補助金		17,242	17,915	△ 673
資産運用収入		34,020	32,120	1,900
資産売却差額		1	0	1
事業収入		78,362	78,357	5
雑収入		174,606	160,269	14,337
帰属収入合計		2,631,568	2,636,262	△ 4,694
基本金組入額合計		△ 287,750	△ 447,446	159,696
消費収入の部合計		2,343,818	2,188,816	155,002
消費支出の部				
科	目	予 算 額	決 算 額	差 異
人件費		1,783,161	1,713,802	69,359
教育研究経費		833,179	776,383	56,796
管理経費		151,576	131,736	19,840
借入金等利息		3,114	3,113	1
資産処分差額		16,400	16,334	66
		(6,600)		
[予備費]		8,900		8,900
消費支出の部合計		2,796,330	2,641,368	154,962
当年度消費支出超過額		△ 452,512	△ 452,552	
前年度繰越消費支出超過額		△ 2,183,878	△ 2,183,878	
翌年度繰越消費支出超過額		△ 2,636,390	△ 2,636,430	

※予備費の使用額の内訳は、下記のとおりである。

資産処分差額	(6,600,000)
構築物処分差額		2,300,000
図書処分差額		4,300,000
合 計	(6,600,000)

貸借対照表

平成24年3月31日

(単位 千円)

資産の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産		11,152,003	11,341,511	△ 189,508
有形固定資産		7,529,837	7,329,528	200,309
土地		394,414	394,414	0
建物		5,669,854	5,476,371	193,483
その他の有形固定資産		1,465,569	1,458,743	6,826
その他の固定資産		3,622,166	4,011,983	△ 389,817
流動資産		1,234,242	1,208,087	26,155
現金預金		1,057,301	1,129,020	△ 71,719
その他の流動固定資産		176,941	79,067	97,874
資産の部合計		12,386,245	12,549,598	△ 163,353

負債の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債		707,576	768,585	△ 61,009
長期借入金		12,060	44,590	△ 32,530
その他の固定負債		695,516	723,995	△ 28,479
流動負債		880,965	978,203	△ 97,238
短期借入金		5,090	29,920	△ 24,830
その他の流動負債		875,875	948,283	△ 72,408
負債の部合計		1,588,541	1,746,788	△ 158,247

基本金の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
第1号基本金		12,424,650	12,027,210	397,440
第2号基本金		800,000	750,000	50,000
第3号基本金		13,484	13,478	6
第4号基本金		196,000	196,000	0
基本金の部合計		13,434,134	12,986,688	447,446

消費収支差額の部				
科	目	本年度末	前年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額		△ 2,636,430	△ 2,183,878	△ 452,552
消費収支差額の部合計		△ 2,636,430	△ 2,183,878	△ 452,552

科	目	本年度末	前年度末	増 減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		12,386,245	12,549,598	△ 163,353

財 産 目 録

I 資産総額	12,386,245	千円
内 基本財産	7,531,157	千円
運用財産	4,855,088	千円
収益事業用財産	0	千円
II 負債総額	1,588,541	千円
III 正味財産	10,797,704	千円

区 分	金 額
資産額	
1 基本財産	
土地	183,750 m ² 394,414 千円
建物	50,603 m ² 5,669,854 千円
図書	235,948 冊 939,602 千円
教具・校具・備品	9,695 点 293,896 千円
その他	233,391 千円
2 運用財産	
現金預金	1,057,301 千円
その他	3,797,787 千円
3 収益事業用財産	0 千円
資産総額	12,386,245 千円
負債額	
1 固定負債	
長期借入金	12,060 千円
その他	695,516 千円
2 流動負債	
短期借入金	5,090 千円
その他	875,875 千円
負債総額	1,588,541 千円
正味財産(資産総額－負債総額)	10,797,704 千円